

令和 7 年度11月補正予算 債務負担行為に係る施工箇所等  
 【追加】

(単位：千円)

番号	事 項	期 間	限度額	費用支出年度区分		事業費計 ①+②	施工箇所	理 由
				R 7 年度 ①	R 8 年度 以降 ②			
578	補助通常砂防事業 (前川支流)	令和8年度から 令和9年度まで	160,000	44,000	160,000	204,000	蒲生郡竜王町山面	本工事は、急峻な地形での砂防堰堤工を実施する工事である。 国の補正予算に対応し、適正工期を確保するためには、年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。
	計		160,000	44,000	160,000	204,000		

令和7年度11月補正予算 債務負担行為に係る施工箇所等

【変更】

(単位：千円)

番号	事 項		期 間	限度額	費用支出年度区分		事業費計 ①+②	施工箇所	理 由
					R7年度 ①	R8年度 以降 ②			
123	補助道路整備事業 (伊香立浜大津線)	補正前	令和8年度	200,000	525,000	200,000	725,000	大津市仰木四丁目 ～坂本八丁目	千野・坂本工区は、幅員狭小かつ線形不良な区間があり、円滑な交通を確保するために、バイパスを整備するものである。 近接する発注済工事の進捗にあわせての工事着手となることから、適正工期を確保するためには年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。(当初) 国の補正予算に対応し、事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為の期間および限度額を変更したい。(変更)
		補正後	令和8年度から 令和9年度まで	400,000	545,000	400,000	945,000		
137	補助道路整備事業 (神郷彦根線)	補正前	令和8年度	1,450,000	900,000	1,450,000	2,350,000	愛荘町川原～東近 江市神郷町	神郷・川原工区は、近接する国道8号の慢性的な渋滞の交通流の分散を目的に、愛知川を渡河する橋梁を含む約2kmの整備を行うものである。 工事を一体的に発注する必要があるため、大規模工事となるため、年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。(当初) 国内示状況に応じて、さらなる事業推進を図るため、債務負担行為の限度額を増額したい。(6月補正) 国の補正予算に対応し、事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為の期間および限度額を変更したい。(変更)
		補正後	令和8年度から 令和9年度まで	1,480,000	1,100,000	1,480,000	2,580,000		
157	補助道路整備事業 (田代上朝宮線)	補正前	令和8年度	50,000	50,000	50,000	100,000	甲賀市信楽町畑	畑工区は、幅員狭小な区間があり、通行の安全性を向上させるため現道拡幅を行うものである。 事業効果の早期発現や業務の平準化を推進するため、年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。(当初) 国の補正予算に対応し、事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為の限度額を増額したい。(変更)
		補正後	令和8年度	70,000	80,000	70,000	150,000		
266	補助広域河川改修事業 (葉山川)	補正前	令和8年度	60,000	15,000	60,000	75,000	栗東市上鈎他	当河川では河道の切下げおよび河積の拡大を計画している。 護岸詳細設計を進めるに当たり、支障となる既設用水路の移設計画検討を水路管理者と調整しながら進める必要があり、適正工期を確保するためには、年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。(当初) また、工事において非出水期に施工する必要があるが、施工区間において、地中より擁壁が確認され追加の撤去作業が必要となったため、債務負担行為の限度額を増額したい。(9月補正) 今般、国の補正予算に対応し、またR8年度以降の事業推進を図るため、債務負担行為の期間および限度額を変更したい。(変更)
		補正後	令和8年度から 令和9年度まで	150,000	50,000	150,000	200,000		
459	補助都市公園事業 (奥びわスポーツの森)	補正前	令和8年度	85,000	85,000	85,000	170,000	長浜市早崎町	県が管理する都市公園施設は、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に修繕・更新を進めている。 また、奥びわスポーツの森においては、賑わいの創出と活性化を目的とした再整備を計画している。 公園整備については、利用者の多い時期を避けて実施する必要があるため、適正工期を確保し業務の平準化を推進するためには、年度をまたいだ工期設定が必要となることから、債務負担行為により実施したい。(当初) 国の補正予算に対応し、事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為の限度額を増額したい。(変更)
		補正後	令和8年度	135,000	159,000	135,000	294,000		

番号	事 項		期 間	限度額	費用支出年度区分		事業費計 ①+②	施工箇所	理 由
					R7年度 ①	R8年度 以降 ②			
計	補正前			1,845,000	1,575,000	1,845,000	3,420,000		
	補正後			2,235,000	1,934,000	2,235,000	4,169,000		